



Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報

No.402 2024-2025 No.2

表紙絵：太原 震也元会員



会 長／神田 孝平 副会長／松井 照男 幹 事／小林 一也
広報委員長／柳川 晃良 副委員長／池田 知聡
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日



クラブ会長テーマ **ENJOY ROTARY with TRADITION**
“伝統と共に楽しもうロータリーを”





第2回会員親睦会を開催 ～花火とハローウィン仮装パーティー～



日時 2024年10月22日(火) 午後5時30分より
場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

会長方針のENJOY ROTARY WITH TRADITION
伝統と共に楽しもうロータリーをに沿って会員相互
の親睦を楽しめることを目的に少しでも多くの会員
に参加していただける親睦会を企画しました。

今回のテーマは花火とハローウィン仮装パー
ティーといたしまして、まずは神戸の花火大会を鑑
賞あとハローウィンにちなみまして多くの会員の仮
装の御協力をいただきました。

会長のサタンの仮面、副会長のジョニーデップ、
幹事のかわいい飾りつけ等、3役の皆様にも大いに
御協力いただいたうえ、予想以上に多くの会員の皆
様が仮装に参加いただきまして大変に会員相互の親
睦にも寄与できたものと考えています。

事務局、女性会員の方々も参加いただきまして
オール神戸東で盛り上がることができました。

最期に会員の皆様の御協力を賜りまして、大変あ
りがとうございました。

(親睦委員長 田中 義明)





第27回全日本 RC 親睦合唱祭 ～日本橋「紀尾井ホール」にて開催しました～



去る9月7日、東京日本橋 RC の「お江戸メンネルコール」様が幹事合唱団となり、格式高い「紀尾井ホール」にて親睦合唱祭が開催されました。

全国から27合唱団、人数にして約500名のロータリアンが参加する一大イベントです。

我らが神戸東 RC からは混声合唱団として25名、そして駆けつけて下さった応援団が11名、総勢36名で参加して参りました。

出番の前には西村雅子先生の計らいで、ホテルニューオータニ東京にある約1万坪の見事な日本庭園にて最後の特訓を付けていただき、万全の状態でご本番に臨みました。

残暑厳しい九月の眩い日差しの中、汗をかきながら最後の最後まで稽古をつけて下さった先生方に心から感謝しています。

1曲目は宮崎駿監督のジブリ映画、天空の城ラピュタのエンディングテーマである『きみを乗せて』、続いて2曲目は松田聖子さんの名曲『瑠璃色の地球』です。

2曲共に「人類の平和」や「地球への愛」といった壮大なテーマに想いを馳せながら演奏、そして歌

唱いたしました。

応援団の皆さんの温かい拍手、そして藤井光造応援団長から頂戴しました「ブラヴォー～！」のおかげさまで会場からも盛大な拍手をいただき、改めて神戸東 RC の皆さんの温かい応援の有難さが身に沁みました。

また講評では歌の方も高くご評価をいただき、我々も「本番に強い神戸東 RC 混声合唱団」の自信とやり切った「心地よい充実感」の中、皆で歌うことへの自信を深めることができました。

特にご指導いただいている西村雅子先生と中野聡子先生には、「コーラスの構成、編曲がすばらしかった」と非常に高い評価があり、一同改めて先生方の偉大さを感じる合唱祭となりました。

合唱祭後の盛大な懇親会では多くのロータリアンやそのご家族との懇親を深めることも出来、とても充実した楽しい一日となった事をご報告し、締めくくりとさせていただきます。

吾々も引き続き練習に励んでまいりますので、これからも暖かい応援をよろしくお願ひいたします。

(文責 週報委員長 西村 公志)



古川 貴子
ーリッチフィールドー

みなさま、こんにちは。私は9月より神戸東 RC に加入させて頂いた株式会社リッチフィールド 代表の古川貴子と申します。

本日はみなさまの貴重なお時間を頂き、感謝しております。

簡単に自己紹介させて頂きます。

私は1961年、大阪府豊中市生まれの63歳です。地元の小中学校を経て、高校は宝塚市にあります雲雀丘学園に進学しました。雲雀丘学園は勉強はさほどでしたが、個性豊かな面々が多く、素晴らしい高校生活でした。卒業後、東灘区にあります、今は共学になっておりますが、当時は神戸女子薬科大学に進学いたしました。

神戸では薬大として親しまれ、入学時の学長は金子太郎先生でございました。伝統と格式のある神戸東 RC でも金子太郎先生が活躍され、たくさんの方々に愛されていたことを見聞きし、とても嬉しく、また誇りに思いました。何かご縁も感じております。

また大学時代にはフィギュアスケート部に所属し、合宿、試合など楽しく過ごしました。

24歳で結婚し、二人の子供に恵まれた後、社会参加したくなった時に薬剤師免許があることを思い

出し、短時間のパートとして働き始めました。子供の成長とともに働く時間＝自分自身としての時間を増やし、20年前に独立し、現在は兵庫県下で4軒の調剤薬局を運営しております。

子育て、仕事、と忙しい毎日だったので趣味らしい趣味もなく過ごして参りましたが、更年期を経て、何かしなければ！と思い、ダラダラと続けていたヨガ以外に、2年前にライザップに入会いたしました。1年ほどで10キロ減らしましたが、今は3キロほど戻し、緩く続けております。筋トレは辛いですが達成感もあり、楽しく続けております。

それと並行して2年前から50年ぶりにピアノも習い始めました。子供の時よりも格段に楽しく練習し、レッスンを受けています。

音楽を奏でることがとても楽しく、半年前からアコースティックギターも習い始めました。どちらの先生もお若いのですが、この年齢の拙い生徒を、小さなことでも褒めてくださり、とても気分良く通っています。

最近では着付けも習い始め、いつの日か着物姿で例回に参加できたら、と密かに考えております。

最後になりますが、まだまだ白衣姿で現場にも立っております。

お薬のことで何かありましたらいつでも遠慮なくおっしゃって下さい。健康寿命が少しでも伸びますように、薬剤師としてお力になれば幸いです。

伝統と格式のある神戸東 RC に加入させて頂いたことに感謝して本日の自己紹介とさせて頂きます。

どうもありがとうございました。



林 英伸
—司法書士—

このたび、神戸東ロータリークラブに入会させていただき、9月より例会に出席させていただいております林英伸と申します。1980年（昭和55年）1月生まれの44歳になります。神戸市北区にて生まれました。近くにしあわせの村があり、そこへランニングしに行くことがよくあったのですが、夜に行くため餌を探しに山からおりてきた猪に時折追いかけるということがあり（うり坊はかわいかったです）、そのような比較的自然の多い場所で育ちました。高校を卒業するまで神戸で過ごし、大学進学で札幌へと移住し、卒業後に神戸へと戻ってきました。学生時代はまったくと言っていいほど勉強をしてこなかったため、将来への不安からこれではいけないと思い司法書士試験を受験し、合格後約15年が経過し今にいたっています。

趣味は、サッカーや音楽です。サッカーは小学5年生からしており、現在ではたまに草サッカーをする程度ですが、いまでも続けています。プレイすることもさることながら観戦することも好きで、主に地元チームであるヴィッセル神戸を応援しています。ヴィッセル神戸は、創設29年目にあたる2023年に遂にJ1リーグで初優勝を果たし、私も優勝を決めた試合をノエビアスタジアムに観戦しに行っ

いたのですが、涙したのは忘れられません。2024年も好調を維持し、2024年11月3日時点で首位に立っており、連覇を期待せずにはられない状況です。

音楽については、小学生の頃からTM Networkのファンで、1994年に終了してしまい（現在は再結成をしています）、そのとき私は中学生だったのでライブに行けず悔しい思いをしたことがずっと残っていました。その悔しい思いがあり、また、私自身もようやく生活が落ち着いてきましたので、現在では可能な限りライブに行っています。残念ながら、今年の大晦日のライブのチケットは抽選ではずれてしまいましたが。

このように趣味が楽しいこともあり、他にもしたいことは多々あって、それだけが理由ではないでしょうし願望がないわけではないですが、いまだに独身をしております。なぜ独身なのかと聞かれることも多いのですが、特に理由はなく、私自身もよくわかっておりません。（笑）

司法書士としては一般的な不動産登記や会社登記の業務を中心に行っておりますが、敢えて言えば、太陽光発電に関する業務や企業法務に関する業務を比較的多く扱っているとかと思います。社会が複雑化・多様化しているなかで、依頼内容も同様になっているような印象を受けていますが、私が関与させていただくことによって少しでも紐解きのお手伝いできればと取り組んでいます。まだまだ精進しないといけないことばかりですが、ご依頼者のご負担やご不安を少しでも軽減できるようにと試行錯誤の日々を過ごしております。

改めまして、このたびは神戸東ロータリークラブに入会させていただきありがとうございます。同クラブの会員としてその伝統と格式を損ねることがないように日々を過ごしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



福田 光一

—大和証券神戸支店—

大和証券神戸支店長の福田光一と申します。

伝統と格式のある神戸東ロータリークラブの一員になれたこと、大変誇りに感じております。

私は昭和52年に京都市で生まれ、豊臣秀吉の桜で有名な醍醐寺の近くで高校時代までを過ごしました。当時は入場料もとらず、子供たちの壮大な遊び場となっており、毎日のように広大な醍醐寺の中を走り回って過ごしていました。

今年で30年を迎える、阪神淡路大震は高校2年生の時。当時は、朝、大きな揺れで目を覚ました。ただ、京都の揺れは震度5、いかに神戸の揺れが大きかったのかとニュースを見て衝撃を受けたのを覚えています。

その後、大学に進学する訳ですが、私は理学部で物理学を学びました。

理論物理学は、自然現象やその成立に関する法則を見つける学問であり、物の理（ことわり）や、法則・定理・公理などを知る事が、当時とても楽しいと感じておりました。ただ一方で「こうだから、こうだ」と色んな物事に法則を求める考え方の癖のようなものもできたようにも思います。後に、多くの投資家のお客様とビジネスを進めていく訳ですが、当然ながら、実体経済やビジネスの場においては、何も約束されていません。何の法則もありません。そこには常に不確定要素やリスクがあって、だ

からこそ完璧にこなしたように見えても失敗することもありますし、一方で、想定外のチャンスもあります。そこが面白くもあると思います。

話を戻しまして、大学の1年目で私は父を亡くしました。その後、授業料免除と奨学金を受け、無事に大学卒業に至りました。このような制度が整っている、この国の教育システムには心から感謝しております。一方で、未だ、この国にも貧しさで十分な教育を受けられていない若者もいます。「自分が国から受けた恩をいつか、若い人たちに返せる」そんな人間になりたいと思っています。

父が商売をしていた事もあり、自然科学に接するよりも、多くの人と関わり合えるビジネスの場に出てみたいと考え、2002年に大和証券に入社いたしました。

大和証券入社後は様々な支店や部署を経験しましたが、ここでは、初めて支店長を拝命した熊本地支店の話をさせていただきます。私が赴任したのは、熊本地震の翌年、まだ、瓦礫が残っているような頃でした。一方で、国や自治体からの援助もしっかりとなされていたので、復興も早く、むしろ復興需要による経済の盛り上がりすら感じられました。阪神淡路大震災と比較し被災規模が小さかったこともありましたが、その後の復興に向けた教訓が活かされているのかと感じました。

これまで多くのお客様に出会い、叱咤激励を頂戴しながら、自身の証券パーソンとしての土台を築いてこれたと思っています。本当に、たくさんの失敗をしてきました。でも、その全てが、後の自身の礎になっていると思います。

神戸支店は昭和18年、現在の和証券設立以来から存在する、最も歴史ある支店の一つで、当社の重要拠点です。また、自然と都市が共存し、異国情緒溢れる気品に満ちた街だと思っています。そのような支店の支店長を拝命いただいた事は非常に光栄に感じております。

諸先輩方の皆様におかれましては、どうか、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



VTT 「小児外科領域におけるベトナム医療交流支援事業」報告



近年、医療が進歩したとはいえ、手術を要する心疾患や重症心身障碍児の医療については、外科治療、周術期管理、在宅医療管理の分野に多くの課題を残しています。そこで、本事業では、日本の小児外科医をベトナム国立小児病院に派遣して、ベトナム側の圧倒的な手術経験数と技術を学び、日本の先進的取り組みを指導します。更に、ベトナムから小児外科医を受け入れ、日本の最先端外科医療技術との融合を図り、医療的ケア児・重症心身障碍児者の外科治療について両国共通の課題に対し、教育施設・福祉施設の在り方・連携についての知識と技術の共有、相互理解の為の研修を行い、両国相互の若手医師の人材交流により長期的な医療交流・協力体制を構築、推進させることを目指しました。

具体的には前半の10月1日から6日までのベトナムハノイ訪問では、神戸大学医学部附属病院小児外科の教授と准教授の2名の指導医は、現地での講義・指導に当たりました。日本からベトナムへ派遣される2名の若手医師（医師免許取得後10年目）については、近年、日本よりもロボット手術等の最新機器の導入が進められているベトナムにおいて、最新デバイスについて見聞を広め、その操作を習熟させ、そのスキルを向上させました。後半は11月1日から11月10日までの神戸訪問では、ベトナムから日本へ招聘するベトナム国立小児病院副院長で外科主任部長のベトナム指導医師には、日本初の手術支援ロボット「ヒノトリ」を体験してもらい、日本の若手医師への手術指導や講義を行っていただき



ました。またベトナム国立小児病院外科のベトナム若手医師（医師免許取得後10年目）には、前半に、日本から派遣された指導医から学んだ事について、日本の現場での実際の指導を通して、日本における重症心身障害児者に対する外科手術の適応の考え方、治療内容・手術の手技、周術期管理、在宅医療管理のノウハウを学習させ、重症心身障害児者施設等の見学を通じて治療能力や患児者対応力の向上を目指しました。

今回の研修を通じて、日本人若手小児外科医がベトナムの地で圧倒的な手術件数と高度な技術に感銘を受けるとともに、少子化が進む中で日本の小児外科医療の将来を真剣に考え始めたことは、大きな成果の一つでした。一方で、ベトナムの医師たちも日本の重症心身障害児者治療の現状と、それを支える社会的サポートの重要性を学び、これを自国の課題

として認識していただけたことは非常に意義深いものでした。また、現地で直接互いの文化や医療の特徴、課題を理解し合えたことは非常に有益でした。こうした相互の現場での交流を通じて、両国の小児外科医療の発展に寄与できる関係性を築けたことは、大きな成果であると感じています。

最後に、このような事業を何とかして継続させていきたいものであると感じました。そのために地区の各ロータリークラブが連携して、今後の国際奉仕活動を考えていくべきであると痛感しました。最後に、この場をお借りして、我々神戸東ロータリークラブだけでは十分な活動ができなかったかもしれませんが、地区ならびに多くの協同提唱クラブの御支援に心より感謝申し上げます。

(国際奉仕委員長 後藤 章暢)



「日本のお正月とベトナムのテトの違い」

米山奨学生 チュオン・カイン・リー

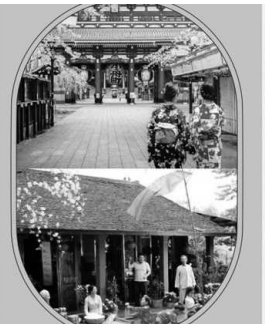
私の卓話のテーマは日本での留学生として、「日本のお正月とベトナムのテトの違い」に関して発表いたしました。

日本に来て1年が経ち、日本のお正月とベトナムのテトの間に多くの興味深い違いがあることに気づいた。「お正月の準備」のような共通点がある一方で、「お正月の過ごし方」や儀式においては、面白い違いが多くあると思っていた。特に、私が一番驚いたのは大晦日の雰囲気だ。日本では静かな雰囲気の中で新年を迎え、みんなが初詣に行くが、ベトナムではもっと賑やかで、花火が打ち上げられ、人々もお寺に行って幸運を祈るといった風習がある。

今年のテトには家族と一緒に過ごすためにベトナムに帰ることができないが、神戸東ロータリークラブからの皆様にいつもお世話になっていただき心から感謝しており、今後の1年間の奨学生生活を大切に、最後まで精一杯頑張りたいと思う。



日本のお正月とベトナムのテトの違い



9, テトの過ごし方

- 先祖を迎える儀式
- お年玉「リーシ」



5, 忘年会

- 友人や同僚との忘年会もありますが、家族や親戚と自宅で行うことが大切
- テトは「家族が集まる時期」
- 一年を振り返り、来年の予定について語り合う



• 驚いた点

- 日本のお正月: 大晦日の夜は静かで、多くの人々が神社で来年の幸運を祈願する
- ベトナムのテト: 賑やかで、新年を迎える瞬間に花火が打ち上げられる
- 旧暦の正月やカウントダウンで、街中に人々が集まり、家族や友人と喜びを分かち合う



日本酒同好会 「上方落語と日本酒を楽しむ会」



11月12日（火）夕方、「上方落語と日本酒を楽しむ会」と銘打ち約12年振りに30名の参加のもと、喜楽館と居酒屋大湊で日本酒同好会を開催致しました。

当日のクラブ例会ではタイミング良く喜楽館館長兼朝日放送アナウンサーの伊藤史隆様の「アナウンサーと支配人『神戸の二刀流』が語る落語の楽しさ」と題した卓話を聞いた直後だけに参加者のテンションは盛り上がりました。

喜楽館では桂文喬師匠の落語「天狗裁き」「らくだ」

特別ゲストの桂文珍師匠の「猫の忠信」等五席の落語を堪能した後居酒屋「大湊」に席を移し、弘田会員厳選の旬の日本酒3種類と料理で大いに盛り上がりました。

折りしも本年11月、日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。

灘五郷をテリトリーに持つ我がクラブも是非改めて日本酒指向に力を注いでいきたいと思います。

（世話人 有志一同）



第9回 kobeっ子親善ラグビー大会を後援・協賛しました



11月21日（木）神戸市北区しあわせの村多目的広場にて秋晴れの中、可愛い保育園児たちの親善ラグビー大会が開催されました。

園児の参加人数 535名、保護者関係者を含め総勢2,000名以上参加の大規模な大会となりました。

神戸市内の認定こども園・保育園各施設間の交流をはかり園児の心と身体の成長、仲間意識の向上や助け合いの精神を育む素晴らしい事業に賛同し当クラブとしては今年で3回目の後援となります。

子供達は日頃の練習成果を存分に発揮し整備された芝生の上を元気に駆け回って試合に臨んでおりま

した。また試合後に表彰をうける際にはあふれんばかりの笑顔を浮かべうれしそうにメダルを受け取っている姿が大変印象的でした。

大会は当クラブ会員の池上大会実行委員長開会あいさつではじまり、神田会長の閉会挨拶で締めくくられ無事終了しました。

最後に大会開催に際しまして多くの会員より協賛広告掲載にご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

（青少年奉仕委員長 芳賀 博之）

43年目となる神戸市立青陽灘高等支援学校 招待ボウリング大会を開催しました



神戸市立青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会が11月25日に生徒115名、引率先生68名、合計183名参加予定で神戸六甲ボウルにて開催された。

神戸東ロータリークラブ神田会長、小林幹事、多数会員に応援頂き、開催させて頂きました。

9時30分には会員の方々には集合頂き、9時50分に青陽灘高等支援学校の先生、生徒の方々が到着され、開会式では青陽灘高等支援学校生徒会の司会で神田会長の御挨拶と六甲ボウルの方によるルール説明と諸注意があった後、ゲーム開始しました。

今回は学校の食中毒等の問題で12時半頃には給

食を食べなければならないので、ゲームの時間は45分間だけでしたが、生徒さんたちの生き生きとした表情が印象に残りました。

閉会式では小林幹事が御挨拶、プレゼント贈呈、生徒さんから御礼の言葉、校長先生の御礼の言葉を頂きました。今回で43年目となる奉仕事業でしたが、奉仕の精神を改めて実感出来ました。そして神戸市立青陽灘高等支援学校関係者の皆様、六甲ボウルの皆様、会員の皆様、委員会の皆様、には多大なる御支援を賜り感謝申し上げます。

(社会奉仕委員長 光葉 應宏)



紅葉のベストシーズンに近江八幡方面への 日帰り家族旅行を行ないました



11月29日（金）に会員13名（委員会メンバー3名含む）、ご家族10名合計23名の登録で滋賀県近江八幡方面へ日帰り家族旅行を通して会員、ご家族様との親睦を図りました。

旅行の内容といたしまして紅葉のベストシーズンに紅葉の名所で当クラブの尾山会員が修行をされた大本山永源寺を訪れ境内を1時間ほど散策し紅葉観賞と呈茶を楽しみ、さらには普段あまり見ることができない龍の天井画『虚空奏龍』を拝見させていただきました。

昼食は滋賀県の老舗店『毛利志満』で近江牛懐石とお酒、ワイン等を楽しみ帰りには昨今大注目の和菓子の老舗店『たねや』が運営する『ラコリーナ』を訪れ広大な敷地の散策とお土産を買って神戸へ戻って参りました。

当日は好天に恵まれた金曜日であったためか道路状況も予想していたよりは比較的スムーズに現地へ行くことができましたが紅葉のベストシーズンという事もあり帰りは少し渋滞に会いましたがほぼ予

定の時刻に帰ってくることができました。

車中では参加された皆様同士での会話やご用意させていただいたお酒、お茶菓子等で盛り上がりまたバスガイドのお話やゲーム大会、尾山会員による永源寺や近江八幡のお話等で近江まで2時間30分ほどかかる場所苦なく過ごすことができました。

コロナ渦という事態で当クラブといたしましても長らくの間団体旅行ができませんでしたがその状況を払拭すべくバス旅行を企画いたしましたところ日程をもっといろんな会員様からアドバイスをいただいて決めていればもう少し多くの皆様にご参加いただけたのだろうと大いに反省しております。

とりあえず参加いただいた皆様には少しでも楽しんでいただけるように委員会メンバー一同いろいろとお気遣いをさせていただきましたところ、至らぬところが多々あったかとは思いますがお許しいただきましたら幸いです。ありがとうございます。

（家族委員長 石川 泰平）





クリスマスイブに「THE MAGIC」の 忘年家族会を開催しました



昨年12月24日（火）のクリスマスイブに18時よりホテルオークラ神戸の『平安の間』にて2024年神田会長年度の忘年家族会を開催いたしました。

クリスマスイブという事もあり参加いただける人数がそれなりにお集まりいただけるかどうか心配しましたが予想に反し本当にたくさんに皆様に参加していただき登録をいただいた153名の皆様に深く感謝申し上げます。未来のロータリアンも20名ほどお越しいただきマジックショーを通してお子様たちにロータリークラブとしまして思い出に残るプレゼントができたのではと思います。

当日はいつものように神戸東ロータリークラブ混成合唱団による「きよしこの夜」、『愛燦燦』、最後に米山記念奨学生のLYさんにも参加していただき「赤鼻のトナカイ」など美しいそして楽しいハーモ

ニーをご披露いただきスタートいたしました。

私は委員長の立場で一言ご挨拶をさせていただこうと思っていたのですが当日はマジックショーを皆さんに楽しんでいただこうと企画いたしましたところ私も一芸マジックを披露させていただきました。果たしてマジックはうまくできたのでしょうか・・・？

2024年度会長である神田会長のご挨拶を頂戴し「明るく楽しく元気よく」のご発声でもって宴が始まりました。お食事、お酒等をお楽しみいただきしばらくしてから皆様から総数130点を超えるご寄贈品のプレゼント抽選会を梅田副委員長の進行でプレゼンターはもちろん神田会長、そして松井副会長にもお手伝いいただき盛り上げていただきました。お買い求めいただいた抽選券は1枚1,000円で予め

用意していた500枚全て完売し総額505,000円を米山記念奨学委員会、ロータリー財団委員会の方へのご寄付となりこれに対しましても深く感謝申し上げます。

今年度の忘年家族会ではマジックをお楽しみいただきたくと言事で2本立ての構成でマジックショーをお楽しみいただきました。まず最初にステージでマジシャン MASA によるイリュージョンマジックをお楽しみいただきました。この時はお子様たちもステージ前に集まり不思議なマジックショーを楽しんでいました。さすがはプロのマジシャンで見せ方も楽しませ方も全てが素晴らしいものでした。30分ほどイリュージョンマジックをお楽しみいただいた後はさらにプロのマジシャン2名が加わり会場の

皆様のお席の方でのテーブルマジックをお楽しみいただき普段あまり見る事のないマジックを披露していただきこちらも大いに盛り上がりました。

中締めとしまして松井会長からご参加いただいた皆様への感謝、抽選権をお会い求め頂いたことへの感謝、家族委員会、親睦委員会への労をねぎらうお言葉等たくさんの謝辞を頂戴し、最後は恒例の友藤ソングリーダー、伊藤唱歌委員長がピアノ担当による「手に手」を参加者全員で合唱し今年度の忘年家族会を終えました。

最後に至らぬところ多々あったことは存じますがお許しただけましたら幸いです、本当にありがとうございました。

(家族委員長 石川 泰平)







職業奉仕の根幹に迫る 「職業奉仕に関わる歴史と 将来の展望」

中井 章詞 会員

1. 職業奉仕は難しい??

五大奉仕の中で、クラブ奉仕はクラブに対して、社会奉仕は社会に対してと同様に国際奉仕、青少年奉仕に於いてもこれら4大奉仕は、それぞれに「何々に対して」と言う対象が明確であるのに対して、職業奉仕だけは「職業に対して奉仕する」では対象が不明確で意味不明になります。更に、職業奉仕が職業と言う自分向き（内向き・利己）と奉仕と言う相手向き（外向き・利他）の相反する言葉の融合が職業奉仕の理解を困難にしている一因と思われます。

2. ロータリーの歴史：Back Scratching から奉仕へ

1905年のロータリー創設期のシカゴには、既に、商工会議所とか経営者協会、同業者組合等が有りましたが、零細な個人業者は組合にも入れず、大企業家の助けを借りる事も出来ませんでした。初期のロータリーに入会したのは、お人好しで、他人を騙してまで営利を求めず、派手な宣伝を嫌うタイプの人が多く、当時のロータリーには、会員間の相互扶助の下、弱い個人業者が安心して取引できるメリットが有りました。つまり、「you scratch my back」

「君、ぼくの背中を搔いてくれ、君の背中は僕が搔いてやる」という意味で、「互惠主義」の団体でした。

3. 職業奉仕の基礎としての職業分類

ポール・ハリスは、同業者間の親睦の難しさを痛感していましたので、競争相手とならない友人の輪を作ろうと、会員を一業種一人に制限しました。これが、ロータリーの職業分類制度の始まりです。この職業分類制度によって、①会員は、クラブに対して自己の職業の代表者という責務を、②ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負う事になり、この二つの責務が職業奉仕の基礎となりました。

4. シェルドンの説いたサービスとは！

シェルドンの販売学は、顧客満足度を上げてリピーター獲得により継続し、発展させる良質な「職業サービス」を指し、「ホスピタリティ」を重視しています。豊富な品揃え、高い品質、適正な価格、経営者・従業員の適切な接客態度、豊富な商品知識、高度な専門知識、公正な広告、十分なアフター・サービスの結果としてProfitを得る事になり、最終的に、職業倫理道德にも繋がると説きましたが、シェルドンは、職業に対し vocation を用いず Occupation を使用しています。これは、キリスト教社会の天職論とは異なり、また、東洋思想や近江商人の三方良しとは類似点はあるものの、宗教色を排除した修正資本主義に基づく科学的かつ合理的経営学上の職業奉仕理論と考えられます。

5. profits に対する反発→ Vocation へ

シェルドンの言う “Profit” は単に、「金銭的な利益」を指しているのではなく、「利益は、目的ではなく結果である事」を意味しているとは言うものの、“He Profits Most Who Serves Best” という言葉が金銭的な利益を求める「功利主義」と誤解される事があり、シェルドンのモットーの排斥運動が発生しました。



また、1927年、クラブ・社会・青少年・職業の四大奉仕の制定によって、シェルドンの奉仕理念は、四大奉仕の一つに格下げとなりました。この四大奉仕の制度は、イギリスが中心になって作った為、「職業奉仕」を“Vocational Service”と表記しました。これにより職業奉仕に所謂「職業天職論」の要素が入ってきました。

6. Vocation とは何か

vocation は、ラテン語の vocatio（神のお召し）を語源とし、神が人間に必要な仕事を分業し、個々へ、その何れかを分担せしめていると言う考え方で、従って、直接には自分の生計に繋がる仕事であっても、同時にそれは、人間全般のために役立つ事を意味し、ロータリーの言う「有益な事業」という言葉には、神の授けた仕事、天職と言うキリスト教社会の使命感を含んでいます。

7. サービスと「奉仕」の違い

日本語の奉仕の持つニュアンスでは、自分の財産、時間、労力を犠牲にして、第三者のために良い事をする意味にとられ、その行為によって利益を得たり、報酬を貰ったりすれば、それは奉仕ではないと考えられます。ところが、ロータリーでいう「職業奉仕」は、適正な利潤を得て、自分の職業を通じて社会の為につくし、人間のもつ欲望と他人への思いやりの精神との調和を考えたもので、米山梅吉氏は、「奉仕」という漢字本来の意味は、「サービス」とは差異があると考え、米山氏の翻訳になる「ロータリーの理想と友愛」には、「奉仕」の文字を使用せず、片仮名で「サーヴィス」と書いてあります。台湾のロータリークラブは、「奉仕」の文字を使わず「服務」と呼んでいます。職業服務、社会服務、国際服務、青少年服務などです。

8. RI と日本における職業奉仕理念の違い

国際ロータリーと日本において、会員が職業を通じて社会に貢献するという考えは共通しています。

日本では、職業奉仕が他の奉仕に比べ上位であるとの思想が根付いている傾向がある一方、国際ロータリーは、どの奉仕も大切に、特に、上位概念を持たず区別をしない傾向にあります。

また、2016年規定審議会で2.奉仕の第二部門である職業奉仕にこれまでの「内なる人づくり」に加え「そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」と言う「外なる人づくり」の文言が追加されました。この事は、職業奉仕の実践を考えるに当たり①「自ら行う職業奉仕」と②「クラブの行う職業奉仕」の2つに分けて考える必要が発生しました。

9. 神戸東ロータリークラブ細則→職業人

当クラブでは、第13条第1節会員の入会方法に職業人または専門職及びこれらに従事した者として推薦された会員候補者と規定しており、当クラブが職業人によるクラブ構成を重視し、職業奉仕に軸足を置いている事が解ります。また、支援学校のボウリング大会やVTTの様なクラブの行う職業奉仕も積極的に実施しています。これらは「内向き・外向き」のバランスのとれたクラブである証拠ではないでしょうか。

参考 及び 引用文献

ロータリーの経営哲学：職業奉仕の真相を探る：第2680地区 田中毅 PG

ロータリーの危機：2012.1.18 高萩 RC ロータリー情報・研修委員会

超入門 職業奉仕の入口：第2760地区 2013-14年度 職業奉仕委員長 村井總一郎

ロータリーの職業奉仕の現状と未来：2020年1月19日 2610地区職業奉仕講演会 刀根莊兵衛 敦賀ロータリークラブ

133名の参加で友生支援学校招待ボウリング大会を開催しました



令和7年1月20日に神戸六甲ボウルにて、神戸市立友生支援学校招待ボウリングが無事開催致しました。福島勝校長先生、担当の谷本美風先生含む引率先生35名、高等部1～3年生で知的部門77名、肢体部門9名、訪問学級1名の生徒87名、合計122名にて開催されました。神戸東ロータリークラブからも神田会長、小林幹事、松井副会長、石橋会員、伊藤会員、植村会員、小谷会員、吉田茂会員、麦会員、渡邊会員、光葉の11名が10時集合致しました。神戸市立友生支援学校の方々は、電車と招待バスに分かれて10時半に全員来場完了されました。それから友生支援学校生徒さんが司会進行され、

友生支援学校福島校長先生挨拶、神戸東ロータリークラブ神田会長挨拶、神戸六甲ボウルの方の挨拶とルール説明と諸注意がありました。

10時50分に生徒代表、神田会長による始球式からゲーム開始となり、11時45分の谷本先生の終了の声まで生徒の歓声が響きました。

終わりの会では松井副会長挨拶、記念撮影、生徒代表による御礼の言葉を頂き終了となりました。今回も友生支援学校、神戸六甲ボウルの皆様にも大変お世話になり、神戸東ロータリークラブの方々にも参加頂きありがとうございました。

(社会奉仕委員長 光葉 應宏)



▲7月23日「みんなす」～みんなを助けるWi-Fi～
株BEECOME 代表取締役 長井拓海氏



▲8月6日「臨時総会（決算・予算）」



▲8月20日「～絵画を通じた社会貢献活動～子供たちと共に作る」
100年先に残そう。1.17絵本プロジェクト
アトリエ太陽の子 主宰代表 中島洋子
スタッフ 辻本岳大
スタッフ 黒川麻紀子



▲8月27日「服の世界は奥深い ふくやの四方山話」
井元憲生 会員



▲9月10日 地区補助金によるVTT「小児外科領域における
ベトナム医療交流支援事業について」
神戸大学 医学部 小児外科 准教授 大片祐一氏



▲9月24日「海とトランペットと私」
古賀健一 会員



▲10月8日「不完全だからこそ面白い！～発達凸凹の世界～」
一般社団法人 日本発達療育士協会
代表理事 奥田幹子氏



▲11月12日 アナウンサーと支配人
「神戸2刀流」が語る落語の楽しさ
朝日放送テレビ株式会社総合編成局アナウンス部
喜楽館支配人 伊藤史隆氏



▲11月19日「国際奉仕委員会活動について（地区補助金VTT）」
国際奉仕委員会 委員長 後藤 章 暢 会員



▲12月10日 気負わない「いつものごはん」が幸せの素
食養生コーチ 料理家 田辺 佳子 氏



▲11月19日「プロジェクトの資金調達仕組みについて」
地区国際奉仕VTT小委員会 委員 中井 章 詞 会員



▲12月17日「瀧川耕三 神戸と燐寸と教育と」
学校法人瀧川学園前理事長
2680地区バスターガバナー・神戸西RC 瀧川 好 庸 氏



▲11月26日「ロータリー財団月間について」
ロータリー財団委員会 委員長 和田 真 一 会員



▲1月21日「外国人労働者の受け入れと日本経済」
大阪市立大学名誉教授・経済学者 朴 一 氏



▲12月3日「年次総会」役員選挙・クラブ細則の改正



▲1月28日「震災で気付いた社会貢献」
工藤 恭 孝 会員



余韻会 (俳句同好会)

令和六年九月二十四日

ホテルオークラ神戸 桜の間

梵鐘の音色に残暑暮れゆけり

奥田 好子

青空にコスモス揺れる石舞台

角田 伯堂

コスモスの群れ咲き誇る乙女塚

塚本 宗哲

猫もまた食欲不振秋暑し

吉井 聖倅

そよぐ風コスモスなびく庭の影

神田 淡京

秋暑しネクタイ緩め店を出る

小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和六年十月二十四日

ホテルオークラ神戸 桜の間

昨日とは別のたそがれ秋ぞ行く

奥田 好子

行秋のどこか淋しき夕日かな

角田 伯堂

新米を上手に炊いて五つ星

塚本 宗哲

今年米今か今かと待ち望む

吉井 聖倅

新米のおにぎり糧に一等賞

神田 淡京

行秋やページ捲れてゆきし午後

小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和六年十一月十九日

ホテルオークラ神戸 桜の間

冬めくや城跡の濠の水の黙

奥田 好子

曇り空雑炊熱く吹きさます

角田 伯堂

待ち侘びし熱い雑炊友と酒

塚本 宗哲

冬めきて蜂蜜の瓶白くなり

吉井 聖倅

雑炊や顔も心もあたたまり

神田 淡京

雑炊や卵を落とすタイミング

小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和七年一月二十八日

ホテルオークラ神戸 桜の間

去年今年なく祈らねばならぬこと

奥田 好子

初日差す米寿の年の巖かに

角田 伯堂

春を待つ神戸震災三十年

塚本 宗哲

雪やんでいつもの道となりけり

吉田 博

雪国や見上げて太き梁二本

吉井 聖倅

母の背で夢見る吾子や帰路の雪

神田 淡京

お勘定いやもう一杯窓の雪

小林 一也



「六甲山より大阪湾を望む」

絵と文 小倉 宗夫

CONTENTS

第2回会員親睦会	1
第27回全日本RC親睦合唱祭報告	3
新会員自己紹介	4
VTT「小児外科領域における ベトナム医療交流支援事業」報告	7
米山記念奨学生報告	9
同好会報告「日本酒同好会」	10
Kobeっこラグビー大会報告	11
青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会	12
日帰り家族旅行	13
忘年家族会	15
職業奉仕月間	18
友生支援学校招待ボウリング大会	20
例会スナップ	21
余韻会	23

編集後記

2024-2025年度の第2号の会報をお届けいたしました。
神田会長年度のクラブ活動が下記の通り盛大に行われました。
第2回会員親睦会、日帰り家族旅行、忘年家族会、新春例会、
支援学校招待ボウリング大会、Kobeっこラグビー大会、そして
全日本RC親睦合唱祭、VTTベトナム医療交流支援事業、職業奉
仕月間、新会員自己紹介、また多くの同好会も行われました。
大いに盛り上がりましたクラブ活動も、あっという間に約3分
の2の期間が過ぎようとしています。
会報掲載の原稿依頼を快く承諾して下さった皆様に感謝申し上
げます。

広報委員長 柳川 晃良